

検査前日から検査終了までの流れ（大腸内視鏡）

1. 検査前日

消化の悪いもの（こんにゃく、種のあるもの）や繊維の多いもの（ごぼう、ねぎなど）は避けてください。夕食は消化の良いものを午後6時までに済ませ、その後絶食としてください。牛乳・果汁を避けていただければ水分摂取は可です。常用薬は服用して差し支えありません。午後8時にマグコロールPを、午後9時にセンノサイドを内服してください。

2. 検査当日

検査当日は、絶食・禁煙ですが、のどの渇きが強い場合は、コップ1杯程度の水なら飲んでいただいても結構です。普段、朝に服用している高血圧、不整脈、心臓、喘息の薬はいつも通り服用して下さい。

- 午前9時30分には御来院ください（自動車、バイクを運転しての来院は御遠慮ください）。あらかじめサインしていただいた同意書を当日必ずお持ち下さい。
- まず2Fの回復室で検査着に着替えていただきます。約2リットルの水に溶かした検査前処置用下剤を約2時間かけてお飲みください。服用後約1時間で排便が頻回になり水様便となりますが、2～3時間で落ち着いてきます。便が透明・薄黄色の水様になれば検査可能です。自宅での下剤服用も可能ですのでご相談ください。

3. 検査

左下になって、膝を少し曲げた状態でベッドに横になっていただきます。腸の動きを抑える注射を行い、検査を開始します。

- まず直腸診を行い、その後肛門から大腸の一番奥の盲腸まで内視鏡を挿入します。内視鏡を引き抜きながら、少しずつ空気を入れて腸内を観察します。大腸の粘膜に病変がある場合は組織を採取（生検）します。
- 検査中に痛みを感じる方は、遠慮せずに教えてください。鎮痛剤を適宜使用したりします。

4. 検査が終わったら

- 内視鏡検査の画像を見ながら医師が結果を説明いたします。
- 検査後はお腹が張りますが、ガスを出していただければ、徐々に楽になりますので心配はありません。しばらくたっても腹痛・むかつき・下血などがある場合にはご連絡してください。
- 検査後2,3日は胃腸に優しい食事をしてください。アルコール、刺激物、消化の悪いものは避けてください。